

インターロッキングブロック舗装
Technical Report
－ 試験方法 編 －
(その6)

Vol.77

1. IL ブロックの保水量試験方法(JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品附属書 B (規定)舗装・境界ブロック類 推奨仕様 B-3 インターロッキングブロック)

(1)試験装置

- ① 0.1mm 単位以上の精度で測定できるノギス
- ② 1g 単位以上の精度で測定できるはかり
- ③ 温度 105 ± 5℃に保持できる乾燥機
- ④ 密閉式のプラスチック容器(図 1)

(2)試験方法

- (3)保水量試験に用いる供試体はブロック有姿とし、製品の温度 105 ± 5℃の乾燥機で一定質量になるまで乾燥した後、常温まで冷やしたものとします。
- (4)この時の供試体の質量を量り、これを絶乾質量(m_d)とします。
- (5)この供試体を 15～25℃の水中に 24 時間浸せきした後、15～30℃の室内で付図1に示すプラスチック製の密封容器中に 30 分間静置した後、取り出して湿った布で表面の水膜をふき取って質量を量り、これを湿潤質量(m_w)とします。
- (6)供試体の体積(V)は、表面積に厚さを乗じたものとします。
- (7)厚さは 3 か所、幅及び長さは 2 か所を測定し、その平均値とします。なお、表面積は公証寸法から求めてもかまいません。
- (8)保水量(W_r)は、(1)式によって算出し、数値は四捨五入を行い、小数点以下 2 桁に丸めます。

$$W_r = \frac{m_w - m_d}{V} \dots\dots\dots (1)$$

ここに、 W_r : 保水量(g/cm³)
 m_w : 湿潤質量(g)
 m_d : 絶乾質量(g)
 V : 供試体の体積(cm³)

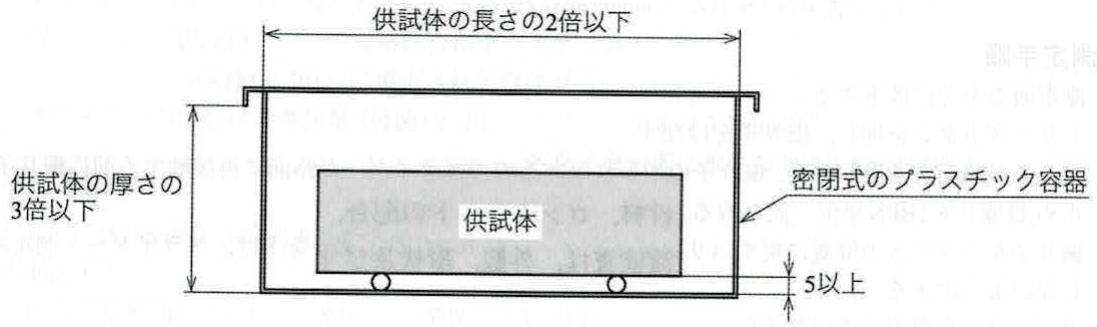


図1 湿潤状態にする装置の概略図

以上